

妊娠

出産

乳幼児期

ネウボラって？

フィンランド語で「相談する場所」が日本語に近い意味。フィンランドでは、「ネウボラ」として、かかりつけの担当者や専門職が、妊娠期から就学期まで切れ目なくサポートしています。



仙北市ホームページ
はコチラ！

【電話相談／仙北市保健課】

《固定電話》 ☎ 43-2252

《携帯電話》 📞 080-2813-0835



予防接種と子どもの健康

○感染症から子どもを守ろう

私たちの身の回りには、細菌やウイルスによって引き起こされる様々な感染症があります。

乳幼児期には免疫が未発達なため、様々な感染症にかかりやすい時期です。感染していくことで免疫をつけながら成長していきますが、中には重い合併症や後遺症を起したり、命を落とす危険のある感染症もあります。

そうした感染症を予防するのに安全で確実性の高い方法が「予防接種」です。

すべての感染症に対してワクチンがあるわけではありませんが、ワクチンのある感染症については、予防接種を受けて感染を防ぎましょう。

○予防接種の大切な役割

予防接種には、3つの大切な目的があります。

1. 自分が病気にかからないため
2. もしかかっても症状が軽くすむため
3. 周りの人にうつさないため

予防接種は、自分のためでもあり、自分の周りの大切な人たちを守るものでもあります。

予防接種を受けられる人たちが、きちんと接種を受けることによって、地域で感染症がはやることを予防することが出来ます。

その結果、予防接種を受ける年齢になつていない赤ちゃんや妊婦さん、病気のために予防接種を受けることができない方などを病気から守ることが出来ます。

○ベストなタイミングで接種しましょう

ワクチンの種類によって、接種を開始できる月齢や接種回数が異なります。それぞれ安全に接種でき、効果が高い年齢を考慮して決められていますので、「受けられる時期が来たらすぐ受ける」ことが基本です。受け忘れていたものがないかを母子健康手帳で確認しましょう。

ワクチンデビューは生後2か月からですので、仙北市では、赤ちゃん訪問の時に説明しております。

